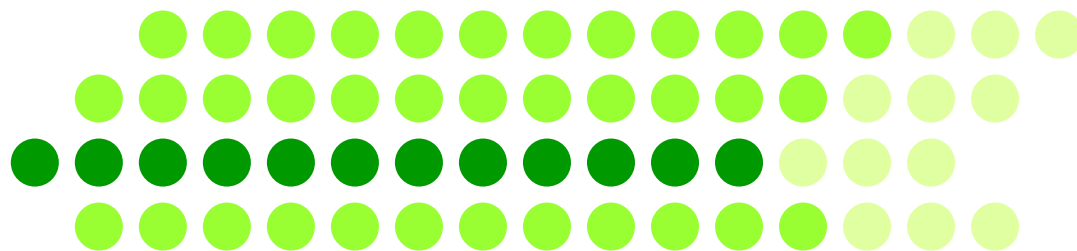


国や島根県との連携推進

島根県 浜田市
産業経済部 農林課

普及支援係長 鎌原 浩治
農政係 主任主事 森川 学



現状と課題

農林行政は、
国や県の補助事業を活用した施策が中心

中山間地の状況が
分かってもらえない



住民や農家の要望に応えるには？

- どんな事業が活用できるのか
- 事業でどこまで、できるのか
- 手続きは、どうするのか



国・島根県



富田経済政策統括監
国や島根県との連携
意見交換・現地視察

国の職員も、実は現地を知らない、
地方の状況を知りたがっている。



連携強化への取組 1

中国四国農政局との勉強会（平成22年から毎年春に1回開催）

農林課、各支所産業課の若手職員を中心に岡山市に訪問

農政局職員との意見交換

- 浜田市の現状や取り組みを紹介
- 国の補助事業などの実施状況を説明

- 国の施策の最新動向など情報提供
- 補助事業の紹介や活用アドバイス

意見交換終了後には、個別に担当者とのミーティングも実施。
事業実施の指摘やアドバイスなどを受けた。

農政局職員が浜田市視察



農政局局長、局次長、担当課長など来訪

- 久代町の耕作放棄地解消事業地
- 三隅町東平原の事業計画地
- 旭町の農地保全に向けた取組 など

連携強化への取組 2

中国四国農政局、石見地域9市町との意見交換会 島根県も含めた農林担当者が集まり、浜田市で開催

(平成24年11月15日開催)



- 小規模・高齢化集落の状況を視察
- 各市町の現状や取り組みを紹介
- 人・農地プラン作成に向けた取組
- 国の施策への要望や提案

- 国の平成25年度予算概算要求の説明
- 補助事業の紹介や活用アドバイス

農政局や島根県の担当者へ、小規模・高齢化集落の農業維持に関して、現場でたゆまぬ努力を続けている各市町の農林担当者の生の声を聞いていただくことができた。

石見地域9市町が一同に会して、農業振興の具体的な方策を情報交換できたことも、今後の各市町の政策立案に大いに参考になった。

取組の成果 1

勉強会、意見交換会や現地視察の実施により...

○ 事業実施の具体的なアドバイスを受けた

- ・ 久代町の畑地の灌水施設について、耕作放棄地の圃場内だけでなく、老朽化していた本管の一部も国の補助事業で改修できた。
- ・ 西条柿の産地である東平原の再生を目指した計画実施に向け、アドバイスを受けるとともに、今後の設計段階でも参加いただけることになった。
- ・ 金城の新開団地での市民農園を開設する場合の事務手続きや活用できる事業の説明を受けた。



○ 中山間地域からの声が施策に反映された

- ・ 農家からの要望の多い耐久性畦畔(田のアゼのコンクリート補強)を市の単独事業で実施していたが、平成25年度から国の補助事業の中で実施できるようになった。

中山間地域の厳しい条件での農地保全、農業振興に関する情報共有



取組の成果 2

(平成24年12月11日開催)

島根県との中山間地域整備構想意見交換会

今後の島根県の中山間地域の基盤整備を考えていくうえで、平成25年度に浜田市を県西部のモデル地区として、農業基盤の課題を抽出し、その解決方法の案を県が取りまとめることとなり、意見交換を行った。



旭町での基盤整備をセットにした「農地保全プラン」の取組を紹介するとともに、条件不利地域の現地視察を行い、今後の中山間地域での基盤整備について意見交換を行った。

農政局との意見交換会などを通じて、これまでの浜田市の取組が島根県にも評価され、中山間地域での農業振興、農地保全に向けた基盤整備のモデル地区になったと考えています。



今後の展開

国や島根県との連携の強化

若手職員による中国四国農政局での勉強会の継続開催
中山間地域での厳しい現状を伝え情報共有を図るとともに、
国や県からの素早い情報提供を受け、詳細な要件等の確認を行い、
スムーズな事業実施や方針決定を行っていく。

石見地域9市町との連携の強化

当地域に中国四国農政局を招いて意見交換会の継続開催
国や県だけでなく、今年度から始めた石見地域9市町とも連携を図り、
中山間地域での農業振興、農地保全に向けた取組を強化していく。

これからも国や島根県との連携を図り、地元のためになる補助
事業を最大限活用するとともに、

国や県の施策に反映していただくためにも、地方からの生の声
を直接届けていきたいと考えています。

